

氷都「とまこまい」で創造する令和の未来
～雪と共に存するまちづくりwarm community～

2020ふゆトピア・フェア in とまこまい



雪国 の 魅 力 ❄ 苫 小 牧 か ら 発 信

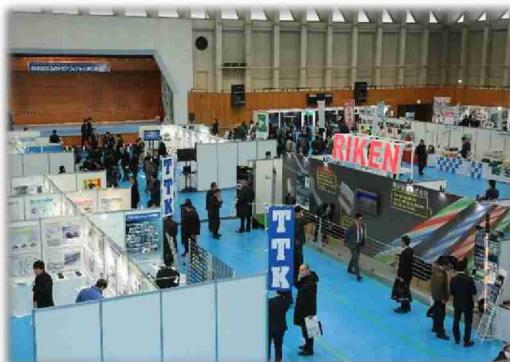
開催日

令和2年1月23日(木)・24日(金)

開催地

北海道苫小牧市

<開催報告書>



令和2年3月
2020ふゆトピア・フェアinとまこまい 実行委員会

2020ふゆトピア・フェア in とまこまい

はじめに

令和2年1月23日(木)～24日(金)の2日間にわたり、北海道苫小牧市(苫小牧市民会館、苫小牧総合体育館、出光カルチャーパークグラウンド(市民文化公園))において、「2020ふゆトピア・フェアinとまこまい」を開催しました。2日間にわたる参加人数は、延べ約5,100名と多くの方々に参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

「ふゆトピア・フェア」は、総合的な雪対策の推進等を目的として昭和60年より北海道・東北・北陸の3地域で持ち回りで開催している全国的なイベント(東北・北陸は「ゆきみらい」)であり、今回で35回目の開催となります。北海道ではこれまでに釧路市や函館市等で開催してきており、北海道開催は12回目です。なお、苫小牧市での開催は胆振管内では、初めての開催となりました。

当日は、「オープニングセレモニー」を皮切りに、「ふゆトピアシンポジウム」、「ふゆトピア研究発表会」、「ふゆトピア展示会」、「除雪機会展示・実演会、競技会」、「ふゆトピア交流会」などが開催されました。本報告書では、各催しにおける開催状況について報告いたします。

開催テーマ

氷都「とまこまい」で創造する令和の未来 ～雪と共存するまちづくりwarm community～

新しい時代「令和」最初の「ふゆトピア・フェア」となることから、改めて、冬の厳しい環境や冬の魅力を再確認して、活力ある北国の生活文化の創造を目指し、雪に強い冬の環境づくりを目的としたテーマとしました。

開催場所



2020 ふゆトピア・フェア in とまこまい オープニングセレモニー

オープニングセレモニーは、各催しに先立ち、令和2年1月23日(木)9:30より、苫小牧市総合体育館主競技場にて開催しました。「2020ふゆトピア・フェアinとまこまい」実行委員会を代表して、委員長・後藤貞二国土交通省北海道開発局長、副委員長・浦本元人北海道副知事及び岩倉博文苫小牧市長が挨拶を行いました。また、開催地苫小牧市の苫小牧アイヌ文化保存会がアイヌ古式舞踊を披露しました。実行委員会委員長・副委員長及び各催しの代表者の合計7名によりテープカットを実施しました。

【テープカット参加者】

・松尾 優子(シンポジウム代表)

(独)国立高等専門学校機構 苫小牧工業高等専門学校 准教授

・谷口 円(研究発表会代表)

(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所 研究主幹

・柴尾 幸弘(展示会代表)

理研興業(株) 代表取締役副社長

・水上 あかね(除雪機械展示・実演会、競技会代表)

有限会社ヤギタ産業

・後藤 貞二(実行委員会委員長)

国土交通省北海道開発局長

・浦本 元人(実行委員会副委員長)

北海道副知事

・岩倉 博文(実行委員会副委員長)

苫小牧市長



後藤 貞二 国土交通省
北海道開発局長



浦本 元人 北海道副知事



岩倉 博文 苫小牧市長



アイヌ古式舞踊の披露の様子



(左から、浦本副知事、水上さん、谷口さん、松尾さん、柴尾さん、後藤局長、岩倉市長)

来場者数
約800名

2020 ふゆトピア・フェア in とまこまい ふゆトピアシンポジウム

ふゆトピアシンポジウムは、令和2年1月23日(木)14:00より苫小牧市民会館大ホールで「積雪寒冷地で暮らす人々の工夫やコミュニティ形成の大切さ、雪国の大魅力」をテーマに開催しました。

シンポジウムの開催にあたり、主催者を代表して後藤貞二国土交通省北海道開発局長、開催地を代表して岩倉博文苫小牧市長が挨拶を行いました。また、来賓を代表して山田邦博国土交通省技監が挨拶をされ、「世界の北海道をアピールする良い機会であり、北国の地域振興に寄与することに期待」と述べられました。

■ 基調講演

基調講演では、北海道赤平市出身で、タレント・構成作家としてHTB「水曜どうでしょう」などの数々の番組の企画・出演をしている鈴井貴之氏が「雪で創る」と題して講演しました。

講演の中で鈴井氏は、現在赤平市の山林にアトリエ兼自宅を建て、自らチェーンソーを持ち、森の整備や冬には薪ストーブで暖をとるなどの「森の生活」をしていることを紹介しました。また、そのような生活における経験を踏まえて「正直、冬は厳しいが、必ず訪れる季節であり、厳しいからこそ、逆転の発想でどのように楽しく過ごすか考えて欲しい。」と述べると共に、最後に、「雪で厳しい北海道だからこそ、新しい事を創ることができる。」と力強く語りました。



【祝辞】山田 邦博 国土交通省技監



【主催者挨拶】後藤 貞二
国土交通省北海道開発局長



【主催者挨拶】
岩倉 博文 苫小牧市長



【基調講演「雪で創る」】
CREATIVE OFFICE CUE 鈴井 貴之 氏



【基調講演の様子①】



【基調講演の様子②】

■ パネルディスカッション

引き続いてのパネルディスカッションでは、「未来に向けて雪と共に存する”まちづくり”を考える」と題し、コーディネーターに尾関俊浩氏((大)北海道教育大学教授)、パネリストに青木秀一氏(国土交通省北海道開発局建設部道路維持課道路防災対策官)、西大志氏(苫前町まちづくり企画／克雪体制づくりアドバイザー)、松尾優子氏((独)国立高等専門学校機構 苫小牧工業高等専門学校 准教授)、松村博文氏((地独)北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所副所長)、をお招きして議論しました。

はじめに、各パネリストからは、自己紹介とともに、各自の「地域コミュニティにおける雪との共存」に関する取組みの説明があり、「苫前町における除雪ボランティアの取り組み」や「苫小牧市における町内会の取り組み」等の事例が紹介されました。

それらの取り組みを踏まえて、パネルディスカッションのテーマである「雪と共に存するまちづくり」について議論をしました。パネリストからは、「防災面からも地域コミュニティが必要」、「コミュニティの中だけではなく外からの意見を取り入れることは重要」、「除雪を自分事として考え、地域自らが考えるシステムの必要性」等の意見が出されました。

議論のまとめとして、コーディネータの尾関氏より、「町内会等が、行政やコーディネーター等の協力を得ながら、企画力を身につけたり、やりがいを見いだし、克雪親雪に関するイベントや活動を通じて、外から見た目線を取り入れながら、活動に必要な経費も確保出来るようなシステムが出来上がることが望ましい」と総括しました。

最後にコーディネーター・パネリストそれぞれが思う「氷都・苫小牧」、「北国・北海道」の魅力を伝えたなかで、総合司会の気象予報士の加藤真奈美氏から「凍える寒さ、真っ白な雪など北海道の魅力は沢山ある。雪は大好き。」と暖かいコメントが象徴するように、賑やかで暖かい雰囲気のパネルディスカッションとなりました。



【コーディネーター】
尾関 俊浩 氏



【パネリスト】
青木 秀一 氏



【パネリスト】
西 大志 氏



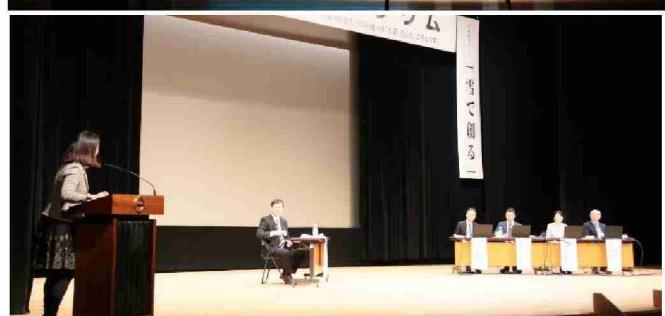
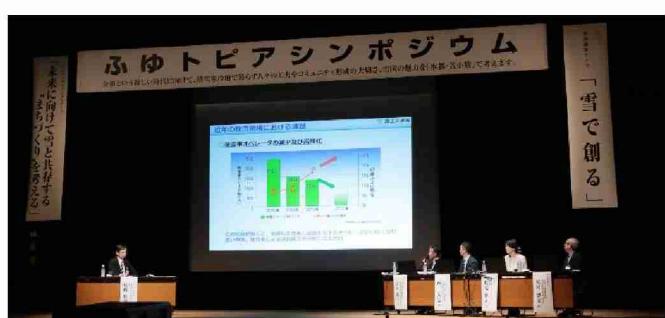
【パネリスト】
松尾 優子 氏



【パネリスト】
松村 博文 氏



【総合司会】
加藤 真奈美 氏



【パネルディスカッションの状況】

2020 ふゆトピア・フェア in とまこまい

ふゆトピア研究発表会

令和2年1月24日(金)9:30より、苫小牧市総合体育館第1練習場、第2練習場で、ふゆトピア研究発表会を開催しました。「地域性を活かした観光・産業振興、地域づくり」、「冬期に生じる災害の支援・復旧」、「冬期インフラ管理」を主テーマとして応募論文を集め、口頭発表希望論文全70編の中から選考した40編の論文について口頭発表を行いました。

具体的には、「冬期の札幌都心部における観光貸切バス路上駐車減少に向けた取組み」や「冬期道路交通の確保とICT技術を活用した防災教育の取組み」、「寒中コンクリート工事の合理化に向けた基礎検討」等の積雪寒冷地における多様な取組みや研究成果について発表が行われました。

同会場ホワイエにおいて「ポスターセッション」の区画を設け、「ドボクが作る雪のあそび場」など、全8編を掲示しのうえ、担当者から説明を行いました。口頭発表会場と相乗して研究発表会を盛り上げていました。

最後に、栗山健作(北海道開発局建設部道路計画課道路調査官)より、「積雪寒冷地の冬期道路交通を確保し続け、ヒトとモノの交流・対流を活性化させることは、この地域に人が住み続け、産業や経済活動を維持するために欠かすことができないことであり、本発表が今後の新しい取り組みや更なる技術研究開発につながることを期待したい。」と、講評しました。



【開会挨拶】

島多 昭典 道路建設課長 栗山 健作 道路調査官

【閉会・講評】



【研究発表会 第1会場の様子】



【研究発表会 第2会場の様子】



【ポスターセッションの様子】

来場者数
約1,200名

2020 ふゆトピア・フェア in とまこまい ふゆトピア展示会

令和2年1月23日(木)～24日(金)の2日間、
苫小牧市総合体育館主競技場において、ふゆト
ピア展示会を開催しました。

北海道・東北・北陸の各地から、民間企業を中
心に、32団体のブースが出展しました。各ブース
では、「雪氷害対策に役立つ道路付属物や舗装
材料」、「再生可能エネルギーやIoTを用いた消融
雪施設」等、積雪寒冷地における快適な冬の生
活環境づくりや防災力向上に関する雪氷対策技
術・製品や取り組み等について紹介しました。

開催期間中は、多くの来場者に来訪いただき、
随所で出展者と来場者や出展者同士の情報交換
が行われていました。

また、苫小牧市内の幼稚園児による見学会の
開催や苫小牧工業高等専門学校の生徒が多く來
訪する等、盛況な2日間となりました。



【総合案内所でのガイドブック配布の様子】



【展示会 開催の様子（全体）】



【出展者と来場者との情報交換の様子①】



【出展者と来場者との情報交換の様子②】

来場者数
約2,100名

2020 ふゆトピア・フェア in とまこまい 除雪機械展示・実演会

令和2年1月23日(木)10:30より、出光カルチャーパーク(市民文化公園)グラウンドにおいて、2日間に渡り、「除雪機械展示・実演会」を開催しました。

開催にあたり、開会式を行い、田崎忠行((一社)日本建設機械施工協会会長)が主催者挨拶を行った後、熊谷勝弘(同協会北海道支部長)外8名によるテープカットで開幕しました。

道内外の民間企業を中心とした16団体が一堂に会し、最新の排ガス規制に対応した大型除雪機械やヨーロッパの最新式除雪機械等の除雪機械・装置の展示を行いました。北海道開発局では、除雪現場における生産性・安全性向上の取り組みであるi-Snow対応の除雪車(GPSによる運転支援、投雪の自動化)の展示を行いました。

また、そのうち7団体が、大型のロータリー除雪車などによるデモンストレーションを実施し、豪快な作業の様子を通して除雪作業の重要性などについて情報発信しました。

開催期間中は、幼稚園児の見学会開催や苫小牧工業高等専門学校の生徒への案内などを行い、盛況な2日間となりました。



【除雪機械展示状況】



【開会式(テープカット)の様子】



【除雪機械を見学する園児の様子】



【ラジコンを操作する園児の様子】

2020 ふゆトピア・フェア in とまこまい

除雪機械競技会

令和2年1月24日(金)13:00より、苫小牧市総合体育館駐車場において、「除雪機械競技会(除雪車チャンピオンシップ)」が実施されました。

2011年札幌開催から始まり、今回の苫小牧開催で4回目となります。

胆振、日高地区の日頃除雪作業に携わるオペレーター10名に加え、高速道路を管理する株式会社ネクスコ・メンテナンス北海道より2名の計12名の除雪車オペレーターが参加して、運転技能を競い合い除雪技術の向上や情報交換を行いました。

開催にあたり開会式が行われ、木村考司(北海道開発局事業振興部機械課長)より主催者挨拶を行った後、選手を代表して浮田加奈子氏(有限会社国興工業)による開会宣言で除雪車チャンピオンシップが開幕しました。

競技は、約200mの周回コースにおいて除雪ドーザを操縦し、機械の点検、操縦性、ブレード操作性、路側追従性、車庫入れの5つの種目で行いました。選手たちは、日頃培った除雪技術を発揮し、正々堂々と競い合いました。

競技中は、地元タレントのキャンドールキーさんと(一社)苫小牧建設協会の櫻田泰己さんがとても楽しく実況を行い会場を盛り上げ、約300名もの来場者が、除雪車チャンピオンシップの競技を団塊を飲んで見守りました。

優勝者は、紺田勇斗氏(株式会社ネクスコ・メンテナンス北海道(札幌市))、準優勝者には、松田稔氏(株式会社ネクスコ・メンテナンス北海道(札幌市))、3位には、土輪岳弘氏(株式会社小金澤組(苫小牧市))が入りました。

表彰式では、藤田俊一(苫小牧重機土木協同組合理事長)より賞状と優勝カップ、木村機械課長よりメダルが授与され、大勢の来場者、関係者が栄誉をたたえました。

表彰式の後、多くの報道陣から優勝者が取材を受ける中、成功裏に競技会を閉幕しました。 -8-



【開会宣言】浮田 加奈子 氏



【競技の様子】



【表彰式の様子】

* 2020 ふゆトピア・フェア in とまこまい

ふゆトピア交流会

ふゆトピア・フェアに参加いただいた方々との意見交換や懇親を目的として、令和2年1月23日(木)18:00より、グランドホテルニュー王子において、ふゆトピア交流会を開催しました。

はじめに、主催者を代表し岩倉博文苦小牧市長が開会の挨拶を行い、山田邦博国土交通省技監の来賓挨拶を述べ、小林敏克北海道建設部長(代理出席)の乾杯により交流会を開始しました。

交流会の中では、胆振地域の日本酒の振る舞い酒の紹介・提供や苦小牧アイヌ文化保存会によるアイヌ古式舞踊の披露が行われ、一層の賑わいが生まれました。

最後に、現開催地・苦小牧市の岩倉博文市長から次期開催地・石川県白山市の山田憲昭市長へ「ふゆトピア・フェア」から「ゆきみらい」へと繋ぐ「カギ」の引き継ぎを行い、最後に山田市長が次期開催に向けた意気込みを述べました。



【主催者挨拶】
岩倉 博文 苦小牧市長



【来賓挨拶】
山田 邦博
国土交通省技監



【乾杯挨拶】
小林 敏克
北海道建設部長
(副知事の代理出席)



【次期開催地挨拶】
山田 憲昭 白山市長



【アイヌ古式舞踊の披露の様子】



【苦小牧市から石川県白山市へカギ引渡し式】



【交流会での情報交換の様子】

同時開催 出展ブースの紹介

展示会に併設した同時開催イベントでは本フェアに併せて、地域情報や地元特産品の物販、各関係機関の取組みを紹介し、来場者への「おもてなし」や情報発信を行いました。

- 開催地苫小牧市や北海道胆振東部地震で被害を受けた厚真町、安平町、むかわ町の東胆振地域の特産品を販売
- アイヌ文化復興等のナショナルセンター「ウポポイ(民族共生象徴空間)」(2020/4/24開業予定)のブースを出展し、PR。
- 苫小牧工業高等専門学校や寒地土木研究所等の各機関がブースを出展し、最新の研究や技術を紹介。
- H30年9月に発生した胆振東部地震の記憶を風化させないため胆振東部地震復旧・復興パネル展を実施。
- 「シニックバイウェイ北海道」「かわたびほっかいどう」等が出展し、地域づくりに関する取り組みを紹介。
- 「こどものいえ(北海道立総合研究機構)」、「雪積み大会(ウインターライフ推進協議会)」、「ほわわ(パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)北海道社)」、「雪の結晶ブーメラン(雪氷学会北海道支部)」等の児童向けの親雪コンテンツを提供。
- 次期「ゆきみらい」開催地である石川県白山市が「いいとこ白山」のブースを出展し、白山市の魅力をPR。



【東胆振特産品・紹介販売①】
自慢の商品を紹介・販売し
地域をPR



【東胆振特産品・紹介販売②】
地元のご当地グルメ、ホッキカレー
販売は来場者が大いに満足



【東胆振特産品・紹介販売③】
地元苫小牧出身のコスプレイヤー
による特産品の紹介コーナー



【いいとこ白山】
次期ゆきみらい開催地をPR



【かわたびほっかいどう】
地域と創る河川の魅力をPR



【民族共生象徴空間(ウポポイ)】
施設概要、アイヌ文化を紹介



【こどものいえ】
積雪寒冷地の建築技術に触れる



【雪積み大会】
雪の性質を楽しく学習しながら
雪積みの高さ競争



【ほわわ】
トマチョップ、ホッキ貝、
マツカワカレイと
いった苫小牧仕様のゲーム



2020 ふゆトピア・フェア inとまこまい

主催

2020ふゆトピア・フェアinとまこまい 実行委員会

国土交通省北海道開発局	一般社団法人苦小牧観光協会
北海道	一般社団法人苦小牧建設協会
苦小牧市	一般財団法人北海道河川財団
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所	一般財団法人北海道道路管理技術センター
公益社団法人雪センター	一般財団法人北海道建設技術センター
一般社団法人日本建設機械施工協会	苦小牧重機土木協同組合
一般社団法人北海道開発技術センター	苦小牧商工会議所
一般社団法人北海道建設業協会	東日本高速道路株式会社北海道支社
一般社団法人室蘭建設業協会	

後援

総務省、文部科学省、北海道経済産業局、北海道運輸局、気象庁札幌管区気象台、一般財団法人日本気象協会、一般財団法人北海道開発協会、公益財団法人はまなす財団、一般社団法人寒地港湾技術研究センター、ウインターライフ推進協議会、一般社団法人シニックバイウェイ支援センター、公益財団法人アイヌ民族文化財団、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国積雪寒冷地帯振興協議会、全国雪寒都市対策協議会、北海道経済連合会、一般社団法人北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、公益社団法人北海道観光振興機構、一般社団法人苦小牧青年会議所、公益社団法人土木学会北海道支部、公益社団法人日本雪氷学会、日本雪工学会、北海道旅客鉄道株式会社、株式会社日本政策投資銀行、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、日本経済新聞社札幌支社、一般社団法人共同通信社、株式会社時事通信社、産経新聞社札幌支局、北海道新聞社、苦小牧民報社、株式会社北海道建設新聞社、北海道通信社、日刊建設工業新聞社北海道総局、株式会社日刊建設通信新聞社北海道支局、NHK室蘭放送局、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ、UHB北海道文化放送、株式会社テレビ北海道、AIR-Gエフエム北海道、FMノースウェーブ、パナソニック システムソリューションズジャパン株式会社 北海道社、苦小牧ケーブルテレビ

【お問合せ】

2020ふゆトピアinとまこまい 実行委員会事務局
(国土交通省北海道開発局開発監理部開発調整課内)
011-709-2311

Domingo
地域密着型! 情報アプリ「ドミンゴ」